

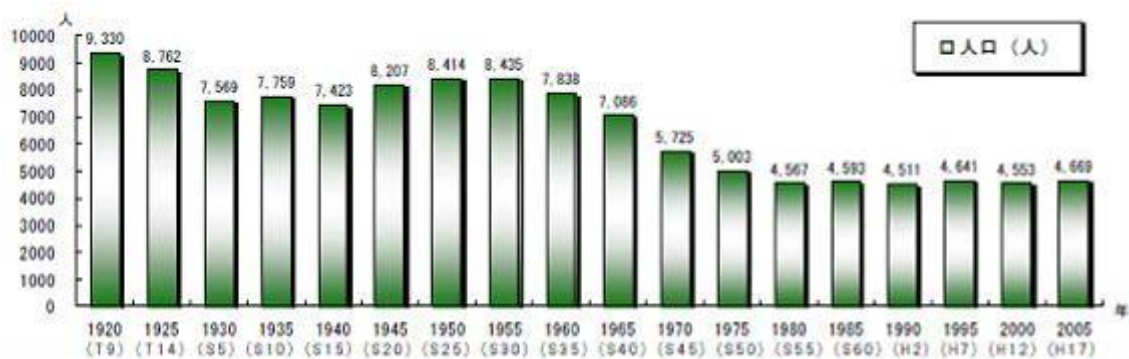
## ニセコ町の状況

### (1) 実施地域（ニセコ町）の地図



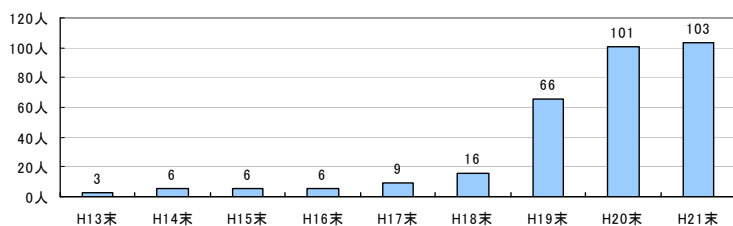
### (2) 実施地域（ニセコ町）の人口の状況

- ・ニセコ町の国勢調査人口について見ると、1920年より1940年までは減少したが、戦後一時増加する。しかし、全国的に過疎化現象が顕著化し始めた1960年頃から再び減少を始め、1980年には1920年の半分以上まで落ち込んだ。以降、多少の増減はあるものの、現在まで横這い状態が続いている。なお、2010年の国勢調査では、人口は4,827人で、前回比3.4%の増加となっている。

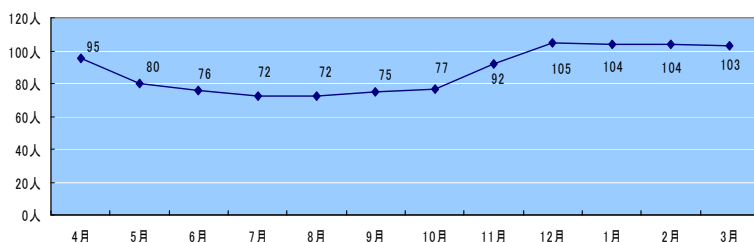


### (3) 外国人登録者数の推移

ここ10年での外国人登録者数は10倍以上に達し、国際的にもニセコの注目度が高まっていることが窺える。平成21年度の月ごとの外国人登録者数。夏季よりも冬季のほうが、登録者数が多い傾向にあることから、冬季間の魅力が高く評価されているともいえる。



外国人登録の推移

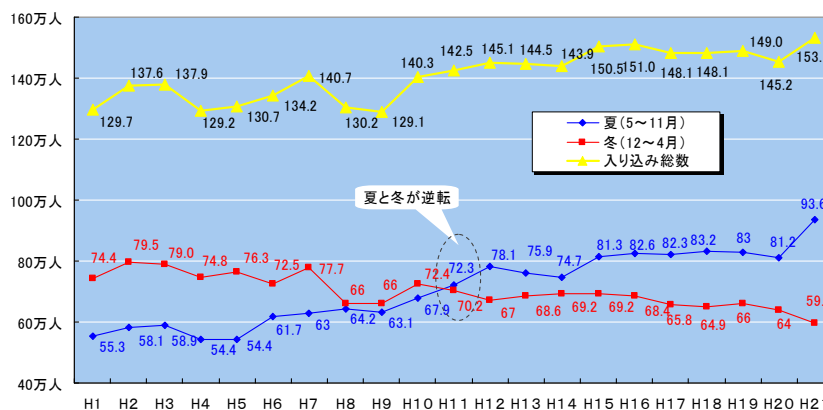
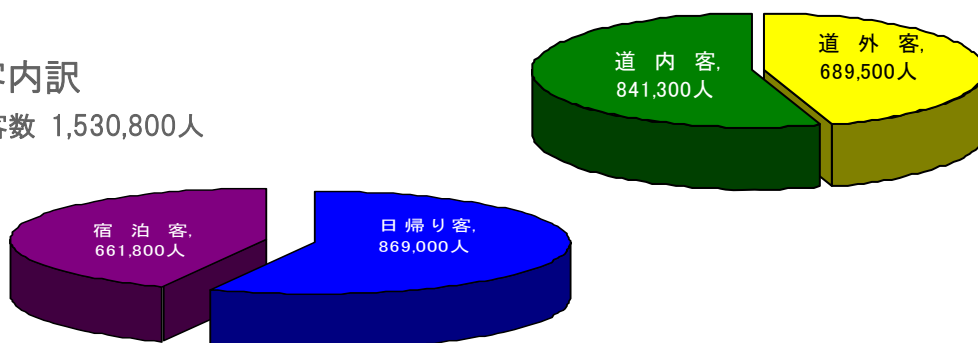


月別外国人登録の推移

### (4) 観光客の入込数

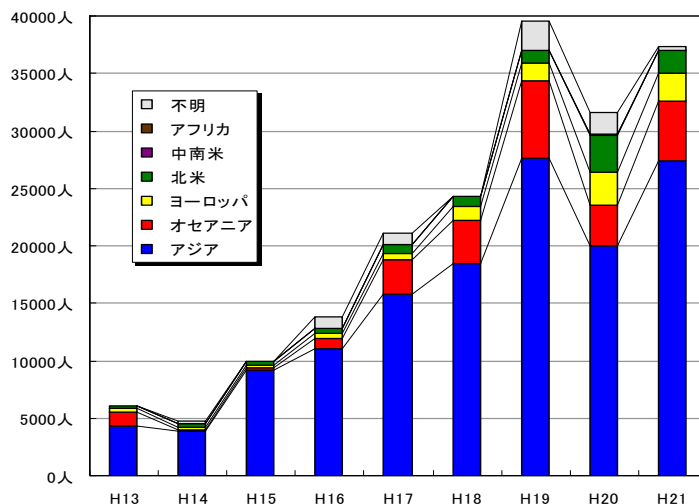
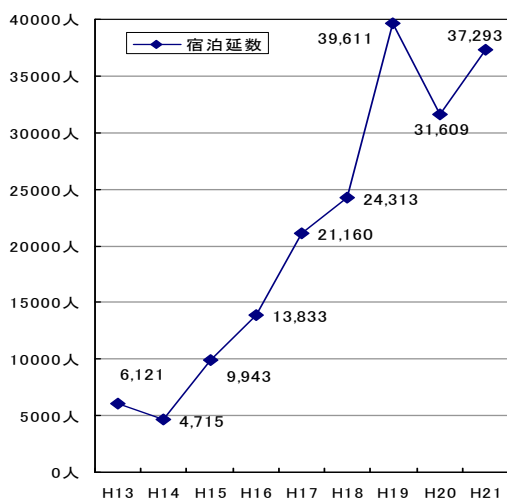
#### 観光客内訳

総入込客数 1,530,800人



(5) 外国人の宿泊状況

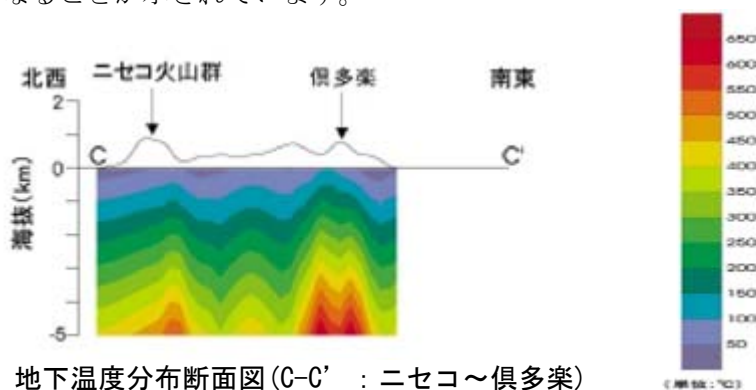
ニセコ町への外国人宿泊客数は、平成14年度を境に急激に増加、19年度には約8倍にも達し、国別の状況を見ると、特にアジア、オセアニアからの来訪者が増加している。度には一旦減少したが、21年度には再び増加しており、今後の動向が注目される。



(6) ニセコ町のクリーンエネルギーの地域特性である地中熱と排熱

ニセコ町は、他地域に比べて地熱が高く、温泉施設も複数あることから、地中熱と温泉の排熱をニセコにおけるクリーンエネルギーの地域特性と捉えます。

※独立行政法人日本原子力研究機構の「地質環境の長期安定性に関する研究」によれば、北海道南西部（定山渓、ニセコ、支笏湖、渡島半島）には、地温勾配が 10°C/100m 以上の高温異常域が分布しており、地下温度構造計算のモデルで作成した分布断面図には、高い温度を示す領域が浅部まで広がり、標高-4～-5km 付近では 500°C 以上になることが示されています。



■ 地下温度分布断面図(C-C' : ニセコ～倶多楽)

※「地質環境の長期安定性に関する研究」，独立行政法人日本原子力研究機構